

JAこうか露地野菜部会（滋賀県甲賀市、湖南市）

R5 補正
R6 当初

48

背景・課題

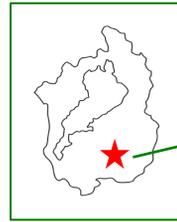
当事業では、水田野菜における土づくりの改善と省力化に取り組んだ。当地域では、露地野菜のための土づくりが不足し、土壌硬化、乾湿害、地力窒素の低下等に起因した生育不良と低収量が課題となっている。そこで、緑肥作物の活用、緑肥の腐熟を促進するバイオスティミラント（BS資材）の活用を検討した。また、省力化技術として乗用型管理機の活用を検討した。

成果目標

- 緑肥の活用による化学肥料使用量の低減
- 乗用型管理機による白ネギ土寄せ作業の軽労化

主な取組内容

- キャベツ定植14日前に緑肥ソルゴーをすき込みしたところ、慣行より可販収量が向上した。
- タマネギ定植14日前に緑肥クロタラリア、ヒマワリのすき込みとBS資材（分解ヘルパー331）施用の有無を比較したところ、クロタラリアすき込み+BS資材施用区が慣行より増収した。
- 白ネギ定植前に緑肥ヘアリーベッチのすき込みを行った。また、乗用型管理機を活用し、土寄せ・施肥を同時に行うことで省力化できた。



甲賀市、湖南市

構成員

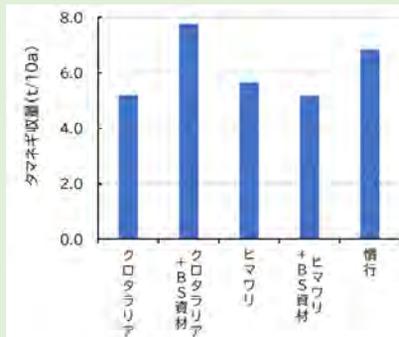
JAこうか露地野菜部会、JAこうか、滋賀県甲賀農業普及指導センター

品目

キャベツ、たまねぎ、白ねぎ



すき込み直前のクロタラリア



緑肥及びBS資材の有無によるタマネギ収量
注) 施肥、一般管理は地域慣行に準じた



乗用型管理機による省力化
(白ネギ土寄せ・施肥同時作業)

検討中の作型

→ 緑肥作付期間 ▨ すき込み・腐熟期間 ■ 栽培期間

時期(月) 作作品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ソルゴー跡作 秋冬キャベツ	→	▨	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
クロタラリア跡作 たまねぎ		→	→	▨	■	■	■	■	■	■	■	■
ヘアリーベッチ 跡作白ねぎ					→	→	→	→	→	▨	■	■

普及に向けた取組

当地作型に合った緑肥として、キャベツ前作のソルゴー、タマネギ前作のクロタラリア、白ネギ前作のヘアリーベッチは適切と考えられた。乗用型管理機による省力化も実証できた。今後は、緑肥及びBS資材の施用による土づくり効果や減化学肥料について検討を進める。

問い合わせ先

滋賀県甲賀農業農村振興事務所農産普及課
TEL 0748-63-6128